

アグリ筑西 2022 1月号

2021年もありがとうございました。
どうぞ良いお年をお迎え下さい。

県西農林事務所 経営・普及部門
(筑西地域農業改良普及センター)
筑西地域農業改良推進協議会 発行
Tel:0296(24)9206
Fax:0296(24)6979



筑西地域農業改良普及センターHPへアクセス! ↑

「第23回全国農業担い手サミットin茨城」で 管内2経営体が表彰されました

11月18日、第23回全国農業担い手サミットin茨城がオンラインで開催されました。本サミットでは、自らの経営改善と地域農業・農村の発展を目指すことを目的に、全国の意欲ある農業者が一堂に会し、相互研鑽や交流等を行いました。

管内からは、下妻市果樹組合連合会及びJA常総ひかりが果樹部門で優良事例の紹介を行ったほか、令和3年度全国優良経営体表彰の2部門で、管内の経営体が農林水産省経営局長賞を受賞しました。

【生産技術革新部門】

(有) イワセアグリセンター (櫻川市)

水稻・麦・大豆・そばの大規模普通作経営体で、不耕起播種機などの高性能機械や圃場管理システムなどのICT技術を地域に先駆けて導入するなど常に新しい機械や技術等を導入して所得向上を目指している。



写真：左が会長の菱沼英昌氏
右が社長の菱沼良之氏

【6次産業化部門】

倉持ピッグファーム(株) (下妻市)

種豚生産から、育種、肥育までの養豚一貫経営へと経営転換を図り、「自分が作った豚を直接お客様に届けて判断してもらいたい」、「納得できる農業生産物を納得できる価格で販売したい」という思いから直営店を開設し、自社銘柄豚の精肉や加工品を販売することで、経営の安定化に取り組んでいる。



写真：代表の倉持勝氏

下妻市産アールスメロン米国本土へ輸出！ 輸出解禁後、全国で初！

11月下旬、JA常総ひかり千代川地区メロン部会が栽培するアールスメロン5ケースが、全国で初めて米国本土に輸出されました。茨城県は、令和3年11月8日に米国本土向けのメロン輸出が解禁されて以降、植物検疫条件の確認や、産地と輸出事業者のマッチングに取り組み、全国初の輸出に繋がりました。今後は令和4年度の本格的な輸出に向けて、現地小売店等との商談を支援していきます。

写真右：輸出するメロンを持つ中里一秀部会長



ラニーニャ現象の危険性！大雪に警戒を！

気象庁が発表しているように今年の冬もラニーニャ現象が起きています。ラニーニャ現象は日本に寒気が流れやすくなることから大雪になる可能性が高くなります。

今までも大雪によってハウスや小屋の倒壊、機械の故障等様々な被害がありました。気象情報をこまめに確認し、雪の予報がでましたらハウスへの降雪対策を十分に行い、被害軽減に努めましょう。

筑西地域女性農業士会 先進事例研修

筑西地域女性農業士会7名が、12月1日、筑西地域女性リーダー先進地研修としてつくば市にある「ごきげんファーム」と「筑波農場」に行きました。

ごきげんファームは障害のある人達が働ける農場（障害者福祉施設）で、生産物は2,300円の野菜セットとして近隣の400世帯に販売しています。農業生産の他、貸農園事業、農業ヘルパー事業（農家さんへお手伝いに行く）などの事業も行っています。

筑波農場は、つくば小田地域の普通作農業法人で、国の6次産業化事業認定を受け、10年前からつくば神社の目の前でおにぎり店「縁むすび」を運営しています。さらに、昨年度は2度目の事業化計画認定で米粉バームクーヘンを作り始めました。

筑西からも比較的近いつくば市で意欲的な活動をしている様子を目にして、参加者たちからは「エネルギーをもらった」、「6次産業化事例に興味があったので面白かった」等の意見を聞くことができました。



ごきげんファーム圃場視察の様子



米粉バームクーヘン

寒い冬に向けてムギ踏みを行いましょう

本年は、11月上旬に播種したものは播種～出芽期の気温が高く、出芽が早まり生育が促進され、12月上旬時点で既に3～4葉期となりムギ踏み開始適期となっています。一方で、12/1や12/8の大雨により、播種が遅れている圃場もあり、播種時期による生育差が大きくなっている状況です（写真参照）。

さらに、今冬はラニーニャ現象が続く可能性が高く、寒波となる懸念が示されていますので、特に早い播種圃場ではムギ踏みの励行がより一層大切です。

効果としては、①茎数の増加、②倒伏の防止、③耐寒性と耐干性の向上、④霜柱による根の浮き上がり防止、⑤生育の均一化、などがあります。

ムギ踏みは、3～4葉期から茎立ち中期までに3回程度行いましょう。11月上・中旬播種の場合は、年内1回、年明け2回の実施が適切です。



写真 ムギ踏み開始適期（3～4葉期）（R3.12.1筑西市撮影）

こだまスイカ病害虫防除暦作成しました

ご希望の方は、県西農林事務所経営・普及部門（0296-24-9218）まで御連絡ください。

害虫	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	備考
アブラムシ類													周年生息し越冬から飛来する。
アザミウマ類													周年生息し越冬から飛来する。
コナジラミ類													収穫期の多発に注意する。
ハダニ類													周年生息し越冬から飛来する。
ハモグリバエ類													葉の表皮に下塊卵を産卵し越冬。
ヨトウムシ													卵塊を作り、集団発生して茎葉を食害。
オオタバコガ													実生初期にスイカに穴をあける。

